



“ホット”なネットワーク!

かんちゃん通信 第10号

初秋号 2018年9月10日発行

- ◆多文化共生・地域交流会(子ども食堂モデル事業)は、2018年度から安土学区まちづくり協議会・地域福祉部会の事業と共催しています。
- ◆安土学区民生委員・児童委員協議会が、かんちゃんの小さな家・団体会員に!(3面に支援メッセージ)

「かんちゃんの小さな家が
“やさしい大きな家”のようにも感じました!」
 ~かんちゃんの小さな家へのメッセージより~



「かんちゃんあそび村」
 (6月ホットルーム:
 安土コミュニティセンター)

日本のこま・世界のこま



お気軽にご参加・ご利用ください♪

多くの皆さまのご支援のもとで、おかげさまで「かんちゃんの小さな家」は、5回目の秋を迎えることが出来ました。「かんちゃん通信」は、3年間で第10号になります。子どもたちの様子はもとより、皆さまからのメッセージをたくさん紹介し、紙面を通しての交流とつながりのフィールドにしていきたいと思っています。多文化共生・地域交流(ホットルーム)、子ども・若者相談ルーム、子育てカフェ、学習サポート教室、子ども支援に関する研修会など、お気軽にご参加、ご利用ください♪【6面に案内】

ともに笑顔になれるとき♪

「紙ふうせんとペテッカ、みんなであそべてたのしかった。」(小学生)
 「大学生のお姉さんと話したり、こまやけん玉のやり方を教えてもらったりして、いい体験ができました。」(中学生)
 「最初は、子どもを見ながら楽しんでいましたが、気がつけばおとなだけで夢中になって遊んでいました(笑)」(お父さん)



みんな一緒に食べるとおいしいね!
 じゃがいもパスタ「ニョッキ」を作りました。(4月ホットルーム:常楽寺老人憩いの家)

2018年 春から夏

たのしかったよ！

かんちゃんホッテルーム

この春から夏は、安土コミュニティセンターや常楽寺老人憩いの家を会場にして、3月、4月、6月、8月と開催し、毎回40～60人が楽しく交流する「ホッとする場(ホッテルーム)」となってきました。(7月は、東から西に進んできた台風12号の影響で中止しました。その内容は11月に延期しています。)

この間の様子から、「いいね！」をひろってみました。

いいね！

はじめての人とも
いっしょになって
たのしくあそびまし
た(^.^)



いいね！

すごい！6才から小学生、
お姉さん、おっちゃん、
90才近くのおばあちゃん
まで・・・12人がサークルに
なってペテッカに熱中♪
すごく盛りあがったね！



ペテッカ(羽根の
ついた球を手で
打つ...ブラジルの
あそび)



いいね！

お昼・・・ソトアヤム
(インドネシアのスープ)
やニョッキ、タコライス、
みんなで作ってたべまし
た。はじめてたべたけど、
とってもおいしかった！



↑ソトアヤム

ニョッキ→



いいね！

安土町老人クラブ連合会の皆さんによる「手作りの紙芝居」の熱演！「あそび村」では、木瀬啓さん、龍神一郎さん、こまやけん玉のサポート、ありがとうございました。また次回もよろしくお願いいたします。



いいね！

学生ボランティアの
皆さん、子どもの活動や
運営のサポート、ありが
とうございます(^.^)



タコライスのコーナーを担当



↑けん玉

←こま



「団体会員への入会」・あたたかいメッセージ ありがとうございます ♡



子どもの福祉の発信地に

～民生委員・児童委員とともに～

安土学区民生委員・児童委員協議会
会長 中根 超信さん

ふり返って“安土が福祉のまち”と言われるようになったのは、37年前の1981年3月8日、国際障害者年開幕のついで「安土音楽祭～わたぼうしコンサート～」を安土小学校体育館で開催し、約1600名の方が参加し、行われた行事がきっかけではないでしょうか。

主催は、安土音楽祭わたぼうしコンサート実行委員会（京都新聞社やKBS近畿放送など実行委員103名）で、民生委員は全員が加わり、かんちゃんの小さな家代表の佐子さんは当時、副実行委員長としてご活躍いただきました。

その後の事業として、「ひとりぼっちの障害者をなくそう」を理念に掲げ、「きぬがさ無認可共同作業所」をスタートさせました。それが、現在の「きぬがさ福祉会」障害者福祉施設で、約4,000名規模の一大イベント「きぬがさまつり」（毎年10月に開催）が、今年も10月28日（日）に安土文芸の郷でひらかれます。今回で26回目になります。

ところで、4月4日の毎日新聞には、「子どもから高齢者までつどう地域の居場所づくりと、貧困対策の両面から期待されている『子ども食堂』が全国で2,200ヶ所、滋賀95ヶ所、近江八幡市8ヶ所あります。」と書かれていました。

私たち安土民児協としては、6月1日の会議で、多文化共生・地域交流のかんちゃんの小さな家の団体会員になり、ともに事業を推進することになりました。

これからは、子ども福祉の発信地となって、活躍されることを期待しています。児童委員としても、学校や地域のつなぎ役として貴会の事業の発展に尽力いたします。



ホットルームで
中根会長（写真の一番左）とともに：
常楽寺老人憩いの家

交流のひろば



2018 夏のひとコマ 写真編

記録的な猛暑に見舞われ、とっても暑すぎる！2018年の夏
あなたはどんな夏でしたか？ はじめての企画ですが、涼しく
そして、ホットな写真を紹介します。



川から子どもたちの元気な声が！

地域の“夏の風物詩”

ほんがわ
盆川 川下り



かんちゃんの小さな家の隣りを流れている盆川。地域の夕涼み会（8月）では、自警団・子ども会による「川下り」が、昨年に続いて楽しく開かれました。暑さを吹っ飛ばす子どもたちの元気な声、地域が元気になりますね！



「今 スペインのバスクで
暮らしています！」

かんちゃん相談ルームで、2年の間出会ってきた若者が、初めて「新しい世界」に飛び立ちました。近況として、滞在地の写真を送ってくれました。「長い助走をとった分、長く飛んでくれると思います。皆さんの支援に感謝しています」（お母さんより）彼の帰国後のお話、とっても楽しみです♪

特集

若い世代からの発信

インタビュー&メッセージ



「かんちゃん、ちょっと提案があるのですが…
 大学や専門学校に進学を考えている外国人や
 外国にルーツをもつ若者向けに、
 進路ガイダンスをしてはいかがでしょうか？」

倉富アニーさん（東近江市在住）



この春、アニーさんから届いたホットなメール。かんちゃんは、アニーさんにインタビューをお願いして、そこに込められた思いを聞かせてもらいました。その一部を紹介します。

♥ アニーさんは、どうして専門学校で英語を学ぼうと思ったのですか？

私は、コロンビアで生まれ、生後4か月で日本に生まれました。日本の小・中・高校に通い、その後、市役所でポルトガル語の通訳を2年間してきました。私もそうですが、外国人の子どもや若者が差別や偏見に悩み、つらい思いをしている現実があります。また、将来どんな仕事に就きたいか、どんな人生を歩みたいか等、すごく悩んでいます。

高校の時は、何になりたいかわからなかった私ですが、市役所（人権政策課）で働くなかで、「国際的に子どもの支援をする仕事に就きたい」という自分の気持ちを知ることができました。そこで専門学校で2年間、集中的に英語を勉強してから大学に行く道を選びました。

♥ 「受験や入学までの手続きで大変苦労した」と聞きましたが、そのことについて教えてください。

オープンキャンパスで入学書類をもらって、家で書きました（私は日本語がわかるので）。でも正しく書けているか、自信がなかったので、高校時代の先生に確かめてもらいました。ハガキの書き方、郵便の出し方など、日本人だったら当たり前のことですが、私は一つひとつ「Google」で調べました（日本のことは、日本語で調べないとちゃんと出てこない）。そのことを相談する人が身近にいないのです。

大学や専門学校の書類、そして、試験にも「ルビ」がありません。高校を卒業してから進学をしたいと思っても、奨学金や授業料など必要なお金のこと、大学のシステムなど、どこで説明してもらえるのか、まったくわからないのです。

♥ 提案にある“進路ガイダンス”について聞かせてください。

高校進学に向けたガイダンスはすでに開かれています。大学や専門学校についての進路ガイダンスは、まだ開かれていません。それと、外国語の関係だけでなく、例えばファッションデザイナーや建築士など、専門的な分野の専門学校を知ることが、すごく視野が広がると思います。

また、進路ガイダンス後のサポートがあれば、とても心強いです。大学に問い合わせ、「外国人の子どもたちに説明してもらえませんか」という橋渡しもその一つです。将来の生き方や進路の選択肢を増やしていくことが大切だと思います。

♥ 今後に向けて…メッセージをお願いします。

今までの20年間の人生の中で、私は、考え方も見方も変わりました。でも、自分が体験した「いじめ」などのいやな思いは、自分の子どもたちには体験してほしいと思いません。日本はすてきな場所で、大好きな場所なので、もっといい経験ができると思います。

そして、「かんちゃんの小さな家」の活動、これからも続けてください！他の子ども食堂と違うところは、イベントをして楽しいだけでなく、「かんちゃん通信」などで「互いに理解しあうことが発信されている」ので、そのことが大切です。

♥倉富アニーさんは、現在、近江八幡市のボランティアグループ「ワールドアミーゴ」で活動中です。インタビュー、ありがとうございました。



子育て中のお父さん・お母さんが、
「あれっ?」「どうして?」と思ったことを
どんどん話せる環境があればいいな♪



廣川イヴィさん (栗東市在住)



以前、職場（京都市国際協会）で子育て中のお父さん・お母さんと意見交換をする場がありました。そのなかで、保育園や学校に関する内容が多くありました。

「学校の書類が分からない」「イベントの趣旨が分からない」などさまざまでした。例えば、「着衣水泳のためにきれいな洋服と靴を持ってきてください。」と学校の先生から言われたお母さんは、水泳のためになぜ服が必要だったのかわからなかったようです。着替えはすでに持たせているのに・・・と疑問に。

日本の学校教育を経験した親なら、日本の学校にはプールの授業があって、その多くの学校では、年に一度は水難事故時の正しい対処法を訓練するために、着衣水泳授業を行うことを理解するかもしれませんが、文化背景が違えば、疑問に思えるのも無理ありません。

また、日常会話の日本語を話せる親からは、「先生の話は大体のことが分かるが、子どもが体調を崩したとき、どのように、何が悪いのかを先生に説明し

たくても、なかなか伝えられない。子どもの健康はとても気になるので、保育園での様子もしっかり理解したい。でも難しい」との声もありました。

このような疑問や悩みを、どんどん聞かせてもらえる環境があればいいな！

子育てをする家族が安心できるように、“ここに聞けば情報があるよ！”という場があちこちがあればいいな。

日本に長く住む外国人の“先輩お父さん・お母さん”をゲストに招いて、経験者として話せる場、そして参加者が経験者と繋がれる場を設けることができればいいな。

その場のひとつが、かんちゃんの小さな家であればいいな。

♥廣川イヴィさんは、「かんちゃんの小さな家」の多文化共生・地域交流スタッフとして活動中です。



交流のひろば

「かんちゃんの小さな家の友の会」の皆さんからのメッセージです。次回も投稿をお待ちしています。



西日本豪雨で被災された皆さまにお見舞い申し上げます。山形県の置賜地方は、空梅雨のうえ梅雨明けも早く、ダムは軒並み干上がる寸前です。学校の夏休みのプールにも影響が出ています。(8/13現在)

私は、39年間、知的障害者の入所施設で勤務してきましたが、今春から知的障害者のディサービス事業所に移りました。そこで気付くのは、例えば、親子が高齢になった『在宅生活』にかかわる障害者支援のあり方です。「相談支援事業所」と連携しつつも、もどかしさ、歯がゆさを感じる毎日です。

かんちゃん通信、全部読ませてもらっています。専用のファイルを作りました！最初から全部ファイルしているよ～。これからもよろしく！

青木幸子さん (長井市)

かんちゃん通信第10号おめでとうございます。毎号の楽しい活動の報告から「かんちゃんの小さな家」の居心地の良さや温かさが伝わってきて、気付けば、いつも読みながら笑顔になっています。私は要約筆記者です。聴覚障がい者に文字通訳をして、参加や交流のお手伝いをしています。

障がいの有無、国籍の違い、大人・子どもなどに関わらず、お互いに理解を深めて心がつながり、一緒に何かをするって素晴らしいことですね。そんな素晴らしいことが当たり前になる日を願っています。

「かんちゃんの小さな家」が、これからもみんなの「居場所」であり続けますように、ますますのご活躍をお祈りしています。かんちゃん通信、今後も楽しみにしています！

入山三重子さん (岐阜市)

相談会のご案内

かんちゃん と まい子さんの 子ども・若者相談ルーム

子育てや学校生活・卒業後の進路等で
困ったこと、気になることがあれば
声をかけてくださいね!

- 9月12日(水) 13:00~17:30
- 10月 8日(月) 13:00~17:30
- 11月 7日(水) 13:00~17:30
- 12月 9日(土) 13:00~17:30

定例日以外は、個別に相談に応じます。
保護者・支援の方の相談も可(要予約)
お問合せ(かんちゃんの小さな家
携帯090-3708-3315)



交流会のご案内



かんちゃんホットルーム

◆参加費:子ども 100円・おとな 300円

第32回 9月15日(土) 10:30~13:00

会場 安土コミュニティセンター
かんちゃんあそび村(その2)
日本のあそび・世界のあそび
お昼は焼きそばとポップコーンだよ

第33回 11月 11日(日) 10:30~13:00

会場 常楽寺老人憩いの家
内容は、スノードームを作ろう/中国の
お話/ギョーザを作ろう・・・だよ(^_^)

学びのご案内

スクールソーシャルワーク研究会しが主催

2018年度 修復的対話(RJ)研修会

サークル・ファシリテーションの基礎と実践編
~心地よい関係性をめざすプロセス~

- 第3回 10月20日(土)
- 第4回 11月23日(土)
- 第5回 2019年2月16日(土)

◇会場 野洲市・近江八幡市
◇講師 郭 理恵さん

(NPO法人修復的対話フォーラム理事)

「かんちゃんの小さな家 友の会」 2018年度 会員募集中!

~応援カンパもよろしくお願ひします~

個人会員 1口 2,500円・団体会員 1口 10,000円

友の会・活動支援カンパの振込口座
振込先銀行 滋賀銀行 安土支店
口座種別 普通 口座番号 403489
口座名称 かんちゃんの小さな家
代表 佐子 完十郎

♥「かんちゃんの小さな家 ホームページ」

せせらぎ (編集後記)

♥「かんちゃんの小さな家」を利用・参加された方、研修会等で活動の様子を聞いていただいた方からのメッセージ・・・写真で、交流会の活動に参加されている方の柔らかい表情を見て、「最近、このような場って少ないな～」と感じました。/多世代、多文化、多国籍の共生社会は、公的機関のイベントではなく、日々の生活の中にあるべきだと強く思いました。/「かんちゃんの小さな家」って何をするところ?って思っていました。子どもは、まだ就学前ですが、これから成長していく中で、必要になってくる場所だなあと感じました。自分の学生の時にも、このような所があればよかったです。/交流会、できれば回数を増やしてください!/こんな身近な所で活動されているとは知りませんでした。地域ぐるみでバックアップしたい!/周知活動、いろいろな方法で広めたいですね。♥たくさんのメッセージ、本当にありがとうございました。「かんちゃんの小さな家の活動は、利用者さんが道案内人ですね!」・・・このご指摘、これからも大切にします。引き続き、皆さまからのメッセージ・アドバイスをお待ちしています。(か)

※次号「第11号」は、1月の発行予定です!

<https://kancyan-house.com/>



ホットフィールド 子ども・若者支援 ヒューマンネット

かんちゃんの小さな家

〒521-1351 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺956-2
携帯 090-3708-3315 (代表 佐子) FAX 0748-46-3283
e-mail srmq61299@nike.eonet.ne.jp

